

うるおいとやさしさあふれる武将のふるさと



■美和町 M I W A

濃尾平野のほぼ中央に位置する美和町は、人口24,356人（平成15年12月1日現在）で、北は稲沢市、東は甚目寺町・七宝町、西は佐織町及び津島市にそれぞれ隣接し、東西5km、南北約4.1kmで西南にゆるやかな傾斜をとり、ほぼ扇型をなしています。町の中心を南北に宮田用水の幹線大江川（下流蟹江川となる。）が貫流し、また東西には中央部に名鉄津島線が走り、名鉄木田駅から南方へ市街地を形成しています。

主な産業は農業ですが、近年高齢化の進展や後継者の他産業への依存などにより、農業経営の兼業化がますます進みつつあります。一方、工業については小規模な中小企業に留まっております。また、商業では従来の名鉄木田駅周辺で形成されていた商業地域が、昭和40年代の町道の開通や昭和50年代の土地区画整理などに伴い、その地域が木田地区から篠田・小橋方地区などまちの南部へと形成され、新たな店舗が軒を連ねています。また、特産物ではまちの北部の東溝口地区で多く栽培され、まちの花にもなっている三色すみれ（パンジー）や、古くから県下でも多く生産されている「越津ネギ」があり、まちの北部で盛んに



三色すみれ（パンジー）

生産されています。



蜂須賀小六正勝公

歴史・文化では、豊臣秀吉公に尽くした蜂須賀小六正勝公や福島正則公を始めとする戦国武将を7人も輩出したわがまちの目標は“うるおいとやさしさあふれる武将のふるさと美和”です。「うるおい」とは、みどりや水環境、「やさしさ」は、住民が助け合う社会、生き物や環境への思いやりの心を持つことを表しています。そして、「武将のふるさと」とは歴史を動かした7人の武将にあやかり、将来進取の気性を持ち、まちを発展させ、全国に誇れるまちにしたいという願いが込められています。

美和町のホームページ <http://www.town.miwa.aichi.jp/>